

JSPE創立20周年記念パネルディスカッション

JSPEの20年とこれからの役割／将来の社会とPE

14:00～15:30

＜お願い＞

(注1)Zoomの方は、ビデオとマイクをオフにしてください

(注2)質疑応答の際は、チャットで簡潔に質問してください

(注3) CPD証はアンケートにご回答いただいた方に発行いたします。

アンケートはオンラインで実施いたします。

この後、アンケートのURLを受講者の皆さんのメールアドレスにお送りしますのでそちらへアクセスしてご回答ください。

※会場で聴講されている方はお配りしたアンケート用紙にご記入いただき、お帰りの際にご提出いただいてもかまいません。

JSPE創立20周年記念パネルディスカッション

JSPEの20年とこれからの役割／将来の社会とPE

登壇者

- 廣瀬 仁志 氏（第2代会長）
- 植村 大輔 氏（第3代会長）
- 土屋 雅彦 氏（第4代会長）
- 川村 武也 氏（第5代会長）
- 森山 亮 氏（第6代会長）

ディスカッションの内容

1. PEとの出会い
2. これまで“何を成し”、“何を成せなかつたか”
3. 将来の社会とは、どのようにしていくか
4. 将来のPEのあり方

1. PEとの出会い

- ① PE(Professional Engineer)資格を知ったきっかけ
- ② どうしてPEを取得しようとを考えたのか？
- ③ エンジニアとは？ PEとは？
- ④ 次の世代にも PE取得をすすめるか？

Engineers' Creed

As a Professional Engineer, I dedicate my professional knowledge and skill to the advancement and betterment of human welfare.

I pledge:

- To give the utmost of performance;
- To participate in none but honest enterprise;
- To live and work according to the laws of man and the highest standards of professional conduct;
- To place service before profit, the honor and standing of the profession before personal advantage, and the public welfare above all other considerations.

In humility and with need for Divine Guidance, I make this pledge.

Adopted by National Society of Professional Engineers, June 1954

2. これまで“何を成し”、“何を成せなかつたか”

- ① JSPEという集団に入会した動機
- ② JSPEに期待したこと
- ③ 会長として目指してきたこと
- ④ やり残したこと

設立趣意書

2000年9月9日

日本プロフェッショナルエンジニア協会(略称、日本PE協会またはJSPE)は、米国各州によって登録されるプロフェッショナルエンジニア(PE)の日本における会員が中心となった活動組織である。

目的

本協会は、会員が専門技術を通じて国際的な工学基準の認識および理解をし、高度の倫理基準をもって公共の安全・健康・福祉・財産を守る活動を支援することを目的とする。

使命

1. 米国プロフェッショナルエンジニア協会(NSPE)と密接な関係を保ちながら、会員が技術的能力と社会的地位を高めるための機会や場を提供する。
2. 会員が国際的な高い水準の技術者倫理観の維持向上に努める場を提供する。
3. 世界で活躍できる視野の広い専門技術者の育成に貢献する。
4. 会員が専門業務をとおして、社会貢献を行うことを支援し、また会員相互支援の機会を提供する。
5. プロフェッショナルエンジニア(PE)およびそれを目指す技術者が、高度専門技術を研鑽する機会を提供する。

活動

1. インターネットや人的交流をとおして、米国プロフェッショナルエンジニア協会(NSPE)と関係を密にし、双方の会員間での専門技術の創造と進歩についての継続的な意見交換を促進する。
2. 会員が高度の専門技術を研鑽するため、専門技術セミナーを開催する。
3. 会員が技術者倫理を確認しその意識を高揚するために、セミナーやキャンペーン等を実施する。
4. 会員相互の情報交換の場と、国際共通語としての英語による意見交換の場を提供する。
5. PE試験やFE試験の準備、実施のためのボランティア活動として会員を派遣する。
6. PEを目指すエンジニアのために効果的なセミナーを開催する。
7. 協会誌やホームページ等を通じて、JSPEやNSPEの活動や動向に関する情報を会員に提供する。

会員構成

本協会の会員は、以下の人たちによって構成される。

PE(Professional Engineer)会員 / EIT(Engineer-In-Training)会員 / 準会員 / 学生会員

この20年の活動方針

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. JSPEの使命実現に向けてのTRIAL | 11. 今こそ示そう、社会的復元力 |
| 2. 進歩の足跡 | 12. 企業内PEの役割について考える |
| 3. 飛躍の年 | 13. 倫理規定はエンジニアのコミュニケーションツール |
| 4. 続 飛躍の年 | 14. エンジニアの交流拡大と統合 |
| 5. 社会に認められるエンジニア | 15. プロフェッショナルエンジニアの見える化 |
| 6. 社会に認められるエンジニア(継続) | 16. プロフェッショナルエンジニアの見える化(継続) |
| 7. さらなる挑戦～社会に貢献するエンジニアを目指して～ | 17. 技術分野をまたぐ、つなぐ |
| 8. 目指せ！世界に羽ばたくエンジニアを | 18. 技術分野をまたぐ、つなぐ(継続) |
| 9. 目指せ！世界に羽ばたくエンジニアを(継続) | 19. エンジニアと社会のネットワーク構築 |
| 10. グローバル社会で認められるプロフェッショナリズムを
求めて | 20. エンジニアと社会のネットワーク構築(継続) |

3. 将来の社会とは、どのようになっていくか

これからの20年は、これまでより変化が早い

これからの社会はどのような社会になっていくか

4. 将来のPEのあり方（社会に伝えたいこと）

- ① エンジニアと社会はどのようにかかわるべきか
- ② エンジニアの形態(役割、制度、教育、目的/公共の安全、健康、福祉)は変わっていくか？
専門職(Professional)はAIに取って変わられるか？
- ③ JSPEに求められることは何か？

質疑応答

- 先に、会場の方から質問を受け付けます
 - 次に、Zoomの方からチャットで質問を受け付けます
- (注)Zoomの方は、ビデオとマイクをオフにしてください